



みんなのギャラリー

2014年10月1日発行

秋と冬のおいし



絵：小野梨々子ちゃん

皆さんの秋の楽しみはなんですか？紅葉狩り？栗やサンマを食べること？それとも読書？私には秋の楽しみのひとつに、どんぐりから出てきた“どんぐりムシ”が土にもぐっていく様子を眺めるというものがあります。変でしょうか(笑)

観察してみると、土にもぐるスピードに驚きました。どんぐりから出るとすぐにもぐるのです。誰かに教わったわけではないのに、どうして迷わずに土にもぐるのか不思議です。興味がある人はぜひ一緒に“どんぐりムシ”観察をしてみませんか。(佐)

# それって本当？

皆さんはヘクソカズラという植物をご存知ですか？私は名前から想像して、きっとすごく臭い植物なのだろうと思っていました。図鑑を開いてみると、やはりにおいについて書かれていましたが、近づいただけでにおいを感じると書いているものや葉をもまないとおいを発しないと書かれているものなど、図鑑によって違う記述がありました。どういことなのでしょう？

私はヘクソカズラに近づいただけでにおいを感じました。そして、花や葉っぱをちぎってみるとより強いにおいを感じました。それも、とても強いにおいでした！青臭さの中に混じって何か別の強烈なインパクトを感じたのです。

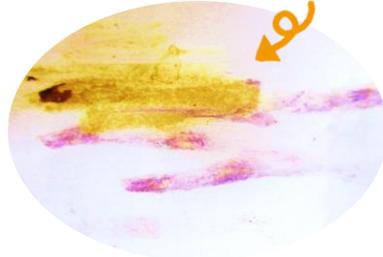
しかし、一切においなんで感じないという人もいるらしいのです。本当のところはどうなのか、改めて色々と試してみました。

## ☆試してみたこと

- ・園内に生えているものに鼻を近づけて嗅いでみた → 臭いのと臭くないものがあった
- ・葉・茎・花をちぎってから嗅いでみた → すごく臭かった
- ・未熟果及び熟果を潰してから嗅いでみた → どちらもすごく臭かった
- ・草花の汁を紙にこすり付けて、そのにおいを嗅いでみた → あっ、色は複雑で面白い。けれど臭い！



葉と花



紙に花をこすりつけたら黄色っぽい色と紫色っぽい色が出ました。

さらに、ちぎった葉のにおいはいつまで継続するのも調査してみました。

一日目 ちぎった葉はすごく臭かった。(周辺に臭いがただよっていた)

三日目 ちぎった葉は臭かった。(周辺に臭いがただよっていた)

五日目 ちぎった葉は少し臭かった。(周辺に少し臭いがただよっていた)

七日目 ちぎった葉は鼻を近づけてみないと分からないくらい微かに臭かった。

九日目 ちぎった葉のにおいはすっかりなくなっていた。



## ☆結果

葉・茎・花ともにこすったり、ちぎったりするとにおいを発するようでした。しかも、においは一週間も継続していました。



こんな可愛い花だけでも臭いんです！  
どうせ臭いのなら、においを嗅ぐ気が起きないくらい姿かたちも奇抜になればいいのに。  
まあ、かわいいと思ってしまった私が悪いんですけど……。

何度もヘクソカズラのにおいを嗅いできましたが、とても好きになるようなにおいではありませんでした！調査を始めたことを後悔するほどにおいが鼻についてはなれませんでした。

ところで、私はヘクソカズラのにおいを“いやなにおい”と感じましたが、あのにおいを“いいにおい”と感じる人はいるのでしょうか？いたらその人に会ってみたいです。(佐)

# 秋、キノコについて思うこと・・・



8月末のある日、キノコに詳しいYさんがいつものようにニコニコと満面の笑みをたたえて管理センターに現れました。

Yさんは持ってきたプラスチックケースを開けて、鮮やかな赤い色をした細い角状のものを見せてくれました。それが、カエンタケとの初めての出会いでした。

カエンタケは毒キノコの中でも毒性が強く、汁に触れただけでも皮膚がただれてしまうといわれています。また、少量でも食べると死に至ったり、運よく助かっても重い後遺症が残ることもあるそうです。そんな強い毒性をもったキノコなのにあまり知られていないのは、このキノコが少し前までは稀であったからだったのではないかと考えています。

ところが、最近では全国各地からカエンタケの発生が報告されるようになり、仙台市のホームページでも注意が呼びかけられています。

なぜ、こんなことになってしまったのでしょうか？



ケースの中のカエンタケ



地面からも出ている...

カエンタケは腐った木材を栄養源にしているキノコと違って、木材の中のラファエレア菌という菌の菌糸から栄養を得ていると考えられています。

1980年頃から見られるようになったコナラやミズナラなどの樹木が大量に枯れるナラ枯れは、ラファエレア菌によって引き起こされるといわれています。そしてナラ枯れを引き起こすこの菌は、それと共生する「酵母」を好んで食べる南方系の昆虫であるカシノナガキクイムシによって運ばれるのではないかとされています。平均気温の上昇とともにカシノナガキクイムシの移動により、感染の範囲が広がった結果、カエンタケの発生も身近になったのではないのでしょうか？



Yさんは「マスコミなどではカエンタケの毒による悲惨な中毒症状ばかりが大きく取り上げられている傾向があるが、私はカエンタケは触ってはいけないただの毒きのこだと思っている。触らなければいいんです。カエンタケにも自然界における役割があるはず…」と言っています。私も大きくうなずいてしまいました。

昔から日本人の暮らしとともにあった雑木林。

ナラ枯れ病の感染の拡大とカエンタケの発生は、私たちに恵みを与え続けてきた里山との関わり方を改めて考えさせるための自然からのメッセージなのかもしれません。(半)



幹から出たカエンタケ

※画像協力:Yさん

# 「青葉の森」のおもてなし



青葉の森管理センターは、関係者以外入ってはいけない印象を持っていた方も多いのではないかと思えます。

でも、そんなことはありません。センターにはレンジャーが常駐して森の楽しみ方を伝えていますし、コースマップや自然の図鑑・絵本などを用意しています！ どんどん利用して欲しいので、少しずつではありますが、入りやすい雰囲気と皆さんに楽しんでいただける施設を目指してイメージチェンジを始めています。



玄関の下駄箱を奥へ移動し、青葉の森の雰囲気を伝える写真や植物を飾ってみました。また、ホールの机とイスのレイアウトも変えています。ほかにもいろいろ工夫していますので、ぜひ入館して下さい！



## 各種看板類、鋭意製作中！

玄関前にもサービス内容を表示した看板を設置します！ それから、青葉の森の入口がわかりづらいという声が多くの方々から寄せられているので、道路からみやすい位置に入口を示す看板を設置する予定です。

紅葉シーズンに間に合うよう頑張っています。出来上がったらブログでお知らせしますので、もう少々お待ち下さい。(千)



玄関前に立てるメニュー看板を作っています。



道路に立てる「青葉の森入り口」を案内する看板を作っているところです。細かい削りクズが飛び散り、電動工具の騒音も凄いのので、装備万端で作業中！



## まだあるっ?!

ホールに置いてある本棚は大きくて、子供たちは手が届かないため、別の場所に低い本棚を作って本を移動させる予定です。

そして、空いた場所には青葉の森全体の大型マップを設置する計画が進行中！ 楽しみにしてして下さい。



これが今の本棚。



どんなマップが  
できあがるかな？

# 夏のイベント活動写真

小さなナチュラルリストがガイドする「青葉の森ってどんなところ!?」 7/21



草花で描く夏の絵はがき 8/24



## 今後のイベントのお知らせ

### 定例イベント

## 親子でワクワク「森とあそぼう♪」

毎月第3土曜日(10/18、11/15、12/20)

対象/小学生以下の子どもと保護者15名(先着)

親子で自然に親しみます。詳しくは市政だよりをご覧ください。

## 音もメロディーもつくっちゃおう! 「あおばの森のおんがくかい」

日時:10月12日(日) 午前10時～午後3時

内容:自然素材で楽器を創ったり、演奏したりします。

対象:小学生以上の子どもと保護者20名(先着)

持ち物:昼食、雨具など、寒くなく歩きやすい格好で

## 親子でおさんぽ「あきいろの森」

日時:11月16日(日) 午前10時～12時

内容:色づいた森の中を遊びながらおさんぽします。

対象:5歳～小学生の子どもと保護者 15名(先着)

持ち物:雨具、飲み物、寒くなく歩きやすい服装

## もみの木の森でクリスマスパーティー(仮)

日時:12月13日(土) 午前10時～11時半

内容:森の中でクリスマスパーティーをします。

対象:小学生以下の子どもと保護者15名(先着)

持ち物:雨具など、寒くなく歩きやすい格好で

## 団体利用のご案内

～ もっと青葉の森を楽しみませんか♪ ～

青葉の森のレンジャーが四季折々の自然をご案内します。少人数からお引き受けいたしますので、お友達や同士、サークル、地域のイベント等でご利用ください。

ご要望に応じて活動の内容は準備させていただきます。料金は無料です。お申込の際には参加される方々の年齢、人数等をお伝え下さい。

また、生活科、総合的な学習の時間などの自然体験学習に関する授業作りのご依頼も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

【 青葉の森管理センター 022-263-2101 】

# これってなんだべ!?



エイリアンのたまごかな?

大変なものを見つけてしまった…  
壺のようなものが葉っぱにくっついて  
いるんだけど、これってなんだろう?  
もしかしてけどエイリアンの卵な  
んじゃないの〜♪



こんなのもあった!



ふしぎなかたちだね!

こっちは平べったくて、複雑な形…  
よく見るとクモの巣にぶら下がっている!

調べたら、これは“卵のう(らんのう)”というクモの卵が入っ  
ている袋で、クモの種類によっていろんな形があるみたい。

秋に卵を産むクモの場合は、卵からかえった子グモがそのまま卵の  
うの中で冬を越して、春に出てくるらしい。  
そういえば、木枯らしが吹く寒い時期に、寿命が尽きるまで卵のう  
を守っている母親グモに出会ったことがあった。その姿を見たとき、  
クモって母性が強いんだなあって感じたよ。  
卵のうは、クモたちの未来を託したゆりかごなんだね。



こんなところに母グモがかくれてた!

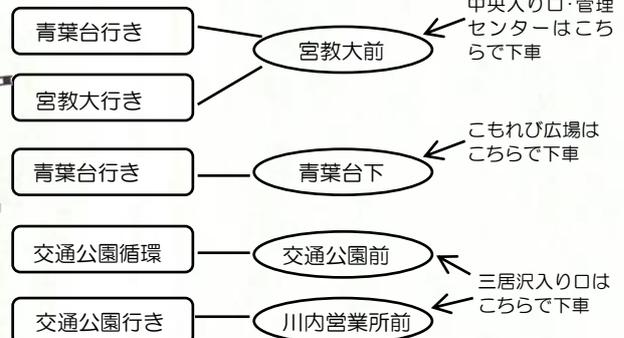


クモって見た目や巣が不気味で気持ち  
悪いって思うかもしれないけど…  
網や卵のうの形がおもしろいし不思議  
な習性があるって、クモって興味深い  
なあって思ったよ! (新)

## ● 交通アクセス ●



## 市営バス 仙台駅西口ターミナル



青葉の森 管理センター 開館時間：9：00～16：30  
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）  
発行：（公財）仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター  
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 Tel:022-263-2101 Fax:022-263-2102  
ホームページ：http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/  
ブログ：http://sendaishi-koenryokuti-kyokai.no-blog.jp/aobanomoriryokuchi/